

船用技術フォーラムをライブ配信で開催

令和3年11月29日
一般社団法人 日本船用工業会

当会は、11月25日、オンラインツールによるライブ配信形式にて第29回船用技術フォーラムを開催した。

下記プログラムのとおり、第I部では、日本財団助成事業として令和2年度に終了した新製品開発助成事業の成果発表を、第II部では、カーボンニュートラルな発電方式として大規模な導入が期待されている洋上風力発電について、概要から発電所で使用する作業船の種類、運用形態、調達等について、関係者による講演を行った。何れも今後の市場展開に関する期待が伝わるプレゼンテーションであった。

当日は、WEBセミナーであったことから、会員企業その他、海運会社、造船所等の129社、270名以上の視聴者数となり、例年より多くの参加者を得ることができ、本フォーラムは成功裡に終了した。

当会としては、今後もオンライン方式の活用を含め、当会の魅力ある事業活動を広く発信していく予定。

《プログラム》

<I部：日本財団助成事業成果発表>

①船舶用ポンプ状態診断システムの技術開発

株式会社浪速ポンプ製作所
技術本部・技術グループ・開発チームリーダー
上出 邦雄 様
イーグル工業株式会社 技術本部開発部 AIOT 課
主事 香美 義幸 様

②内航船の安全性効率性を飛躍的に向上させる先進的な船陸間通信システムの技術開発

株式会社 KITA ENGINEERING
代表取締役 喜多 宏司 様

<II部：洋上風力発電の日本での事業展開>

③洋上風力発電事業の概観

国立大学法人 長崎大学
海洋未来イノベーション機構コーディネーター
織田 洋一 様

④洋上風力発電施設のオペレーション&メンテナンス

丸紅株式会社 国内電力プロジェクト部付
丸紅パワー&インフラシステム株式会社
洋上風力ユニット O&M マネージャー 菅井 幸来 様

⑤洋上風力発電向け作業船の種類と想定される作業

ケイライン・ウインド・サービス株式会社
部長代理 寺西 勝己 様

⑥洋上風力発電向け作業船の設備と特徴

ジャパンマリンユナイテッド株式会社
海洋エンジニアリングプロジェクト部
洋上風力作業船・海洋浮体グループ
グループ長 北川 和弘 様



配信風景



講演①

(左：浪速ポンプ製作所 上出様 右：イーグル工業 香美様)



講演② (KITA ENGINEERING 喜多様)



講演③ (長崎大学 織田様)



講演④ (丸紅パワー&インフラシステム 菅井様)



講演⑤ (ケイライン・ウインド・サービス 寺西様)



講演⑥ (ジャパンマリユナイテッド 北川様)